

鬼北町では、すべての町民が健康で安心して暮らすことのできるまちづくり、鬼北町に住んで良かったと思えるまちづくりを目指して、「健康増進計画～元気にでちこんか健康鬼北21～」二次計画を策定しました。今回は、「地域の健康づくり・認知症予防」についてです。

問 役場 保健介護課 保健係 内線3116  
 役場 地域包括支援センター 内線3122

# 健康増進計画（二次計画）

元気に「でちこんか」を合言葉に  
 健康づくり運動に取り組んでいきましょう！

## —地域の健康づくり・認知症予防編—

1 健康を支え、守るための社会環境の整備  
 ↳地域の健康づくり

健やかに生まれ、健やかに育ち、健やかに生きて、健やかに老いることのできるまちづくりを目指します。そして、安心して子どもを産み育て、地域住民みんなで見守り、元気に楽しく学校生活を送り、ふるさとを大切にすることを育てます。いきいきと仕事ができ、余暇の時間を充実して過ごせ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを目指します。

## 2 認知症対策

今、日本全国で認知症を発症する人が増えています。認知症は、特別な人に起こるものではなく、年をとれば誰にでも起こり得る身近な病気と考えたほうがよいでしょう。

鬼北町の高齢化率は42%を超え、高齢者のみの世帯や認知症となる人の割合が年々増加しています。認知症の人とその家族が安心して住み慣れた地域で暮らしていくためには、地域にお

いて広く認知症に対する理解を深めていくことが大切です。

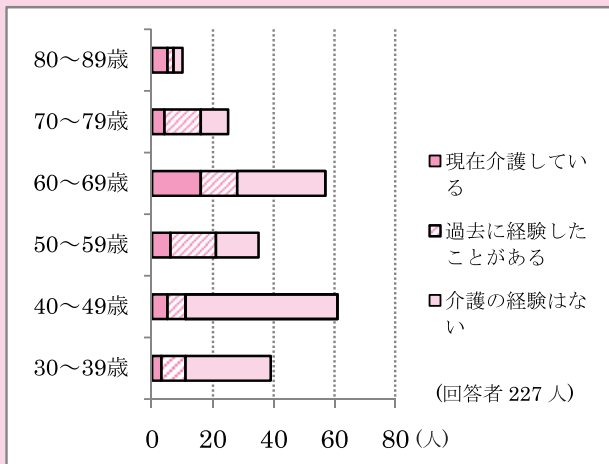
また、地域におけるさまざまな人と資源を結び付け、ネットワークづくりに参加してもらうことが必要です。地域全体での取組にしていくためにも、保健・医療・福祉の専門職だけでなく、住民、企業、学校等と連携した地域づくりに向けて取り組んでいくことを目指します。

昨年度「認知症支援に関する意識調査」を実施しました。その結果から、鬼北町の現状を示します。(図1・図2参照)

介護者で一番多い年代は60歳代で、老々介護をしている人が多く、50歳代では介護のために離職した人もいます。

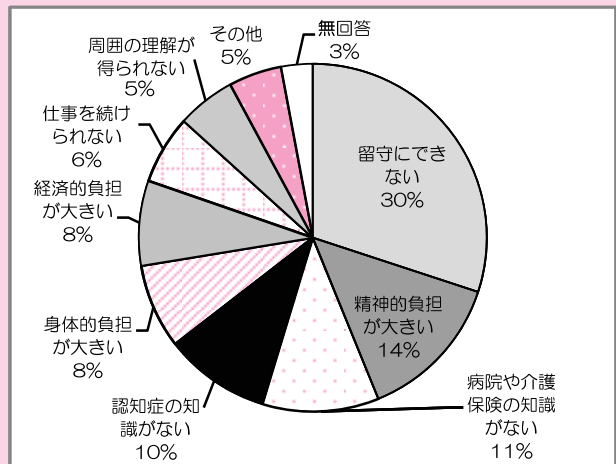
認知症の人や家族に優しいまちづくりのために、鬼北町では、相談業務、認知症サポーター養成講座、見守りネットワーク事業、介護者のつどいなどを行っており、さまざまな支援ができる体制をとっています。お悩みの方は、ぜひ地域包括支援センターへご相談ください。

【図1】 認知症の方の介護経験はありますか？



介護者で1番多い年代は60歳代

【図2】 認知症の方の介護で困ったことは何ですか？



一人で抱え込まず、地域全体で認知症の方とその家族を支えましょう！

### 平成29年4月1日現在の鬼北町の現状

▶総人口：10,756人 ▶高齢者人口：4,587人 ▶高齢化率：42.6% ▶認知症の人：642人(施設入所者含む)